

6年前期 国語 評価の内容

知識・技能	・漢字や語句の由来、特質などについて理解できること。 ・詩の学習では、これまでに身に付けてきた音読の技能をいかして、詩を音読できること。 ・『話し言葉と書き言葉』の学習では、話し言葉と書き言葉の違いに気付けること。 ・『たのしみは』の学習で構成や書き表し方などに着目して、短歌を整えられること。 ・『文の組み立て』の学習で文の中での語句の係り方や語順について理解できること。 ・『情報と情報をつなげて伝えるとき』では、情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使えること。 ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付けること。 ・比喩や反復などの表現の工夫に気付けること。 ・筆順と点画のつながりを意識して、字形を整えて書いていること。
思考・判断・表現	・『帰り道』を読んで、登場人物同士の関係や心情などについて、描写を基に読み取ること。 ・『時計の時間と心の時間』を読んで、事実と感想、意見との関係を押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨をつかむこと。 ・詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。 ・『インターネットでニュースを読もう』では、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること。 ・『聞いて、考えを深めよう』の学習で互いの立場を明確にしながら話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。
主体的に学習に取り組む態度	・すすんで漢字の由来、特質についての理解を深め、今までの学習を生かして漢字を文や文章の中で使おうとすること。 ・積極的に季節を表す言葉を知り、短歌や俳句を粘り強く書こうとすること。 ・物語文の学習では、粘り強く物語の全体像を具体的に想像し、思いや考えを伝え合おうとしていること。 ・説明的文章の学習では、主張と事例の関係を捉えて読み、すすんで考えをまとめようとしていること。 ・積極的に筆順と点画のつながりを意識して、学習課題に沿って字形を整えて書こうとしていること。

6年前期 社会 評価の内容

知識・技能	・日本国憲法の基本的な考え方について情報を集めて読み取り、民主政治について理解できること。 ・日本国憲法の基本的な考え方について理解できること。 ・国会、内閣、裁判所の役割について調べ、情報を集めて読み取り、民主政治について理解できること。 ・立法、行政、司法の三権の役割を理解できること。 ・狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷による統一の様子を理解できること。 ・むらからくにへと変化したことを理解できること。 ・貴族や武士の生活や文化を理解できること。
思考・判断・表現	・政策の実施までの過程や法令や予算との関わりに着目して、国や地方公共団体の政治の取組について、言語や図などに適切に表現していること。 ・国や地方公共団体の政治と国民生活を関連付けて政治の働きを考え、その役割を文章や関係図に表していること。 ・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見だし、狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷（大和政権）について考え表現していること。 ・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、大陸の文化、大化の改新、大仏造営の様子について考え表現していること。 ・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、貴族の生活や文化について考え表現していること。 ・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、武士の政治や文化について考え表現していること。 ・世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、戦国の世が統一されるまでの様子や文化について考え表現していること。
主体的に学習に取り組む態度	・日本国憲法の基本的な考え方について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしていること。 ・国会、内閣、裁判所の働きについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に問題を追究し、解決しようとしていること。 ・我が国の政治の働きについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、粘り強く学習問題を追究し、解決しようとしていること。 ・歴史上の出来事や人物について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、粘り強く学習問題を追究し、解決しようとしていること。

6 年前期 算数 評価の内容

知識・技能	・線対称、点対称な図形の意味や性質について理解したり、かいたりできること。 ・数量の関係を x や y などの文字を用いて式に表し、x、y に対応する値を調べられること。 ・かける数が分数のかけ算の意味や決まりを理解し、計算できること。 ・わる数が分数のわり算の意味や決まりを理解し、計算できること。 ・何倍を表す数が分数でも、x を使ったかけ算の式に表し、基準の量を求められること。 ・比の意味や表し方を理解し、2 つの数量を比で表したり、等しい比をつくったりできること。 ・拡大図、縮図の意味や性質について理解したり、かいたりできること。
思考・判断・表現	・対称の観点で今までに習った図形を見直し、線対称、点対称な図形の性質を説明すること。 ・数量の関係を x や y の文字を用いた式で表すことの簡潔さや使いやすさについて考えていること。 ・分数のかけ算について、比例の考えを基に数直線や式などを用いて表し、説明すること。 ・分数のわり算について、比例の考えを基に数直線や式などを用いて表し、説明すること。 ・何倍かを表す数が分数でも、1 倍あたりの量は、比べられる量 $\div$ 分数倍でもとめられることを、図や式を用いて説明すること。 ・比の性質を基に比の値や等しい比について考え、比の一方の値の求め方を説明すること。 ・拡大図、縮図の意味や性質、作図の仕方について考え、説明すること。
主体的に学習に取り組む態度	・対称な図形について、形の特徴から形を分類したり、対称な形の美しさに気づき、身の回りから対称な形を見付けようとしていたりしていること。 ・数量の関係を x や y の文字を使って簡潔に式に表すことのよさに気づき、これからの学習に文字の式を用いようとしていたり、活用しようとしていたりしていること。 ・分数のかけ算について、図、式などを用いて粘り強く考え、かけ算の決まりを活用して問題を解決したことを振り返ること。 ・分数のわり算について、図、式などを用いて粘り強く考え、わり算の決まりを活用して、問題を解決したことを振り返ること。 ・分数の倍も整数の倍や小数の倍と同じく、比べられる量は、1 倍あたりの量 $\times$ 倍で求められることよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしていること。 ・数量の割合を比で表すことのよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしていること。 ・拡大図や縮図の意味の性質、作図の仕方を合同の意味や比の考えを基に粘り強く考え、問題を解決したことを振り返ること。

6 年前期 理科 評価の内容

知識・技能	・人は環境と関わり、工夫して生活している様子を理解できること。 ・ものが燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができる様子を理解できること。 ・人やウサギなどの体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きを理解できること。 ・植物の葉に日光が当たるとでんぷんができることや根、茎には、水の通り道があり、根から吸い上げられた水は、主に葉から蒸散により排出されている様子を理解できること。 ・生き物は水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていることや、生き物の間には食べる食べられるといった関係を理解できること。 ・月が輝いている側に太陽があることや、月の形の見え方は太陽と月の位置関係によって変わる様子を理解できること。 ・土地は礫、砂、泥、火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあり、火山の噴火や地震によって変化する様子を理解できること。また、地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってできる様子を理解できること。
思考・判断・表現	・人と自然環境との関わりについて、問題を見付け、予想や仮説を基に、解決の方法を考え、文章などで表現して問題解決すること。 ・燃焼の仕組みについて、実験などを行い、物が燃えたときの空気の変化について、より妥当な考えをつくりだし、文章などで表現して問題解決すること。 ・人や他の動物の体のつくりと働きについて、実験、調査などを行い、体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きについて、文章などで表現して問題解決すること。 ・植物の体のつくりと働きについて、実験などを行い、体内の水などの行方及び葉で養分をつくる働きについて、文章などで表現して問題解決すること。 ・生き物と環境について、観察、実験、調査などを行い、生き物と環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、文章などで表現して問題解決すること。 ・月の形の見え方について観察、実験などを行い、月の位置や形と太陽の位置との関係について、より妥当な考えをつくりだし、文章などで表現して問題解決すること。 ・土地のつくりと変化について、観察、実験、調査などを行い、土地のつくりやでき方について、より妥当な考えをつくりだし、文章などで表現して問題解決すること。
主体的に学習に取り組む態度	・人と空気・水・大地との関わりについてどのような関わりをしているのか、自分なりの考えを導き、見通しをもって問題解決すること。 ・燃焼の仕組みについてすすんで実験・観察などの学習に取り組み、友達と協力しながら問題解決すること。 ・人や他の動物の体のつくりと働きについて、消化・吸収・循環について粘り強く自分なりの考えを導き、友達の考えを聞きながら問題解決すること。 ・植物の体のつくりと働きについて進で観察や実験に取り組み、問題解決すること。 ・生き物と食べ物・空気・水についてすすんで資料から調べ、問題解決すること。 ・月の形の見え方について家庭での観察にすすんで取り組み、その結果から粘り強く自分なりの月と太陽の位置関係を導き、問題解決すること。 ・土地のつくりと変化について映像や写真などの学習資料から、粘り強く自分なりの地層のでき方を導き、問題解決すること。

6 年前期 音楽 評価の内容

知識・技能	・『翼をください』や『ぼくらの日々』などの曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解すること。 ・各声部の歌声や全体の響き、伴奏をよく聴いて、最高学年として自然で無理のない響きのあ る豊かな歌い方で『翼をください』等を歌う技能を身に付けていること。 ・『交響曲第 5 番『運命』第一楽章』などの鑑賞曲の曲想と、強弱や音色など音楽の構造との関 わりについて理解すること。 ・ハ長調やイ短調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付け、音符・休符・記号・ 用語を理解して、音楽の仕組みを用いて演奏や音楽づくりをする技能を身に付けること。 ・言葉のリズム（リズムアンサンブル）、音の重なり、強弱や速度について、それらのよさや面 白さなどと丁寧に関わらせて理解すること。
思考・判断・表現	・『翼をください』や『ぼくらの日々』の旋律や音の重なりを注意深く聴き取り、それらの働き が生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考 え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫して、どのように歌うかについて自分なりの思いや意 図をもつこと。 ・『交響曲第 5 番『運命』第一楽章』などの鑑賞曲において、曲の知識を得たり演奏の聴き比べ を行ったりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴くこと。 ・リコーダーや合奏（『カノン』等）において、音色や旋律どうしの関わりを聴き取り、それら の働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関 わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思 いや意図をもつこと。 ・リズムアンサンブルなどの音楽づくりにおいて、互いの音やリズムを聴き合い、仲間と協力 しながら表現の工夫を試行錯誤し、思いや意図をもって表現すること。
主体的に学習に取り組む態度	・『翼をください』等の歌唱曲において、歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活 動を楽しみながら、主体的に・協働的に学習活動に取り組もうとすること。 ・『交響曲第 5 番『運命』第一楽章』などの鑑賞を通して、演奏者や作曲者の思いを感じ取るこ とに興味をもち、関心をもって聴こうとすること。 ・リコーダーや合奏、アンサンブルによる表現活動に興味をもち、友達と互いに音を聴き合い 尊重し合いながら、主体的に粘り強く学習活動に取り組もうとすること。

6年前期 図工 評価の内容

知識・技能	・表したいことや活動に応じて材料（画用紙、和紙、陶芸粘土、木材、ビニール素材、段ボールなど）や用具（絵の具、クレヨン・クレパス、ペン、カッター、のこぎり、げんのう、木工用接着剤、墨、自分でつくった筆など）を活用できること。 ・前学年までの材料や用具などについての経験や技能を生かしたり、自分のイメージに合った方法などを組み合わせたりして、表したいことに合わせて工夫して表すことができること。 ・絵や立体工作に表す活動を通して、物の奥行き、動き、バランス、色の鮮やかさなどを理解することができること。 ・造形遊びをする活動を通して、材料や場所に関わりながら、表したいことに合わせて材料や用具を活用し、工夫して表すことができること。
思考・判断・表現	・絵や立体工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいことなどの自分のイメージを基に、表現する内容を見付けること。 ・表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさや用途などを考えながら、どのように表すか発想すること。 ・親しみのある作品や諸外国の作品を鑑賞する活動を通して、造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴などを感じ取ったり、考えたりして自分の見方や感じ方を深めること。
主体的に学習に取り組む態度	・主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組むこと。 ・つくりだす喜びを味わい、主体的に彫塑粘土でできる形を試しながら思いついたイメージを立体で表す学習活動に取り組もうとしていること。 ・つくりだす喜びを味わい、主体的に左官へらなどの道具の使い方を試しながら、白絵の具でお気に入りの凸凹を絵に表す学習活動に取り組もうとしていること。 ・つくりだす喜びを味わい、主体的に材料や道具の使い方を試しながら自分の表したいイメージをもとに絵に表す学習活動に取り組もうとしていること。 ・つくりだす喜びを味わい、主体的に生活を楽しむ焼き物のイメージを広げて立体に表す学習活動に取り組もうとしていること。

6 年前期 家庭科 評価の内容

知識・技能	・『生活時間をマネジメント』の学習では、生活時間を有効に使うことで、自分や家族の生活が円滑に営まれていることを理解することができること。 ・『できることを増やしてクッキング』の学習では、材料に応じた炒める調理の仕方について理解することができること。 ・『衣服の手入れで快適に』の学習では、日常着の手入れが必要であることや、洗濯の仕方を理解することができること。 ・『すずしい住まい方で快適に』の学習では、住まいの主な働きが分かり、季節の変化に合わせた生活の大切さや住まい方について理解できること。
思考・判断・表現	・『生活時間をマネジメント』の学習では、自分の生活の使い方の課題を見付けて、解決方法を工夫し、有効な時間の使い方を考えていること。 ・『できることを増やしてクッキング』の学習では、おいしく食べるために、いためる調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けていること。 ・『衣服の手入れで快適に』の学習では、日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けていること。 ・『すずしい住まい方で快適に』の学習では、すずしく快適な住まい方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けていること。
主体的に学習に取り組む態度	・『生活時間をマネジメント』の学習では、生活時間の課題解決に向けて意欲的に取り組んだり、時間の使い方を工夫して生活しようとしていたりしていること。 ・『できることを増やしてクッキング』の学習では、家族の一員として、生活をよりよくしようと、食事の役割、いためる調理の仕方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、生活を工夫し、実践したりしようとしていること。 ・『衣服の手入れで快適に』の学習では、家族の一員として、生活をよりよくしようと、日常着の手入れについて、課題の解決に向けて主体的に取り組む、生活を工夫し、実践しようとしていること。 ・『すずしい住まい方で快適に』の学習では、家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、生活を工夫し、実践したりしようとしていること。

6年体育 評価の内容

知識・技能	・『走り高跳び』の学習では、リズムカルな助走から踏み切って跳べること。 ・『バスケットボール』の学習では、簡易化されたゲームで、パスやシュートなどのボール操作を身に付け、攻めたり守ったりすることができること。 ・『短距離走・リレー』の学習では、走る距離やバトンパスなどのルールを定めて競走したり、自分とチームの記録の伸びや目標とする記録の到達を目ざしたりしながら、一定の距離を全力で走れること。
思考・判断・表現	・『病気の予防』の学習では、病気の起こり方と予防の方法に関する課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えていること。 ・仲間との競走や自分の記録への挑戦の仕方を知るとともに、自分にあった競走のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいること。 ・表現運動の学習では、自分やグループのよさを知るとともに、練習や発表会、交流会で自分やグループのよさを生かす動きを見付けること。 ・『バスケットボール』の学習では、チームの特徴に応じた攻め方を知るとともに、自分のチームの特徴に合った作戦を立てること。 ・器械運動の学習では、自分の課題にあった練習の場や方法を選ぶこと。
主体的に学習に取り組む態度	・競走したり、目標記録に挑戦したりする楽しさや喜びに触れることができるよう、陸上運動にすすんで組もうとしていること。 ・表現運動の学習では、表したい感じを表現したり踊りの特徴をとらえたりして踊る楽しさや喜びに触れることができるよう、表現運動に粘り強く取り組もうとすること。 ・器械運動の学習では、技を高めたり、組み合わせたりする楽しさや喜びに触れることができるよう、粘り強く取り組もうとすること。

6年外国語 評価の内容

知識・技能	・教科、スポーツ名、誕生日を聞いたり言ったりできること。 ・施設、建物、自然の表現を聞いたり言ったりできること。 ・町にあるものや町でできることの表し方を知って、聞いたり言ったりできること。 ・日本の文化を紹介する表現を知って、聞いたり言ったりできること。 ・夏休みに行った場所や食べものの表現を、聞いたり言ったりできること。 ・夏休みにしたことや感想の表し方を知って、聞いたり言ったりできること。 ・f と h を含む英語とカタカナ語の発音のちがいを知って、聞いたり言ったりできること。 ・a の2つの音素を含む英語とカタカナ語の発音のちがいを知って、聞いたり言ったりできること。 ・i の2つの音素を含む英語とカタカナ語の発音のちがいを知って、聞いたり言ったりできること。
思考・判断・表現	・地図記号が表している場所を考えて選んでいること。 ・シートをつくって、自分の町のよさを紹介すること。 ・ポスターをつくって、好きな日本の文化を紹介できること。 ・絵日記をつくって、夏休みの思い出を友達に伝えられること。 ・夏休みの思い出を伝えるために必要な語句や表現を使って、絵日記を作ること。
主体的に学習に取り組む態度	・自分のことを知ってもらおうとしたり、友達のことを知ろうとしたりしていること。 ・町のよさについて考えたり、グループの友達と協力しながら町のよさを伝えようとしていたりしていること。 ・日本の文化をわかりやすく伝えようとしていたり、さまざまな文化について知ろうとしたりしていること。 ・英語の語順を意識しながら、相手にわかりやすい絵日記をつくろうとしていること。 ・ゆっくりはっきりと、聞き手にわかりやすく伝える工夫をして話したり、相手が話しやすいようにうなずきやリアクションをして聞いたりしようとしていること。